

UVカットフィルムの展張によるアスパラガスのネギアザミウマ侵入抑制技術の展示

要約

UV カットフィルムの展張により、アザミウマ類の発生を慣行の 3 分の 1 程度に抑制できた。また、フィルムの違いによる、単収やハウス内気温等への影響は見られなかった。

○ 展示のねらい

アザミウマ類は、アスパラガスの品質低下を招く重要害虫である。UV カットフィルムの展張によりハウスへの侵入を抑制し、被害の低減を図るとともに、本技術の実証により IPM 技術の普及定着を促進する。

○ 主な成果

- ・ 供試区でのアザミウマ類の粘着板捕殺数は、対照区比 33.2%に抑制できた (図 1)。
- ・ 供試区でのアザミウマ類の払い落とし数は、対照区比 33.8%に抑制でき、全ての調査回で 1 頭/1 か所以下であった (図 2)。
- ・ 試験区間で、単収、萌芽開始時期、収穫期間、ハウス内気温に差は見られなかった。
- ・ ハウス内紫外線強度は、供試区ではほぼ 0 mW/cm²で推移した。対照区では最大で約 1.58mW/cm²であった (図 3)。

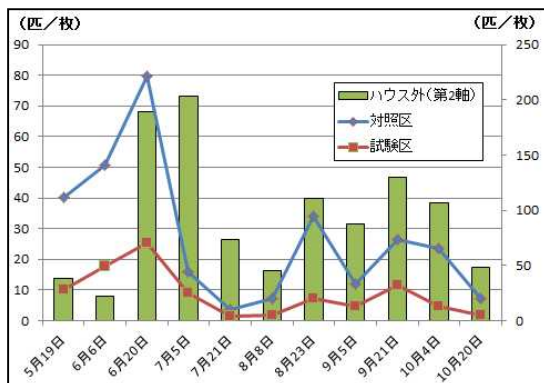


図 1 アザミウマ類の粘着板捕殺数 (匹/枚)

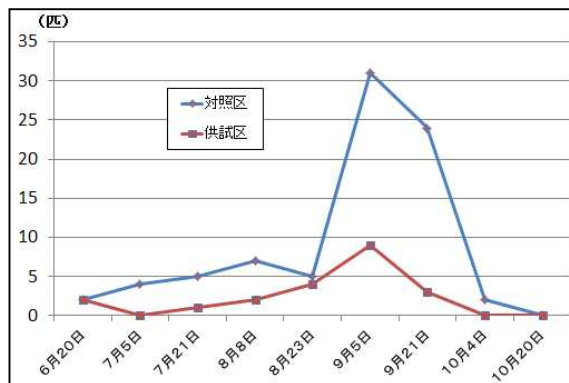


図 2 アザミウマ類の払い落とし数 (匹/10か所)

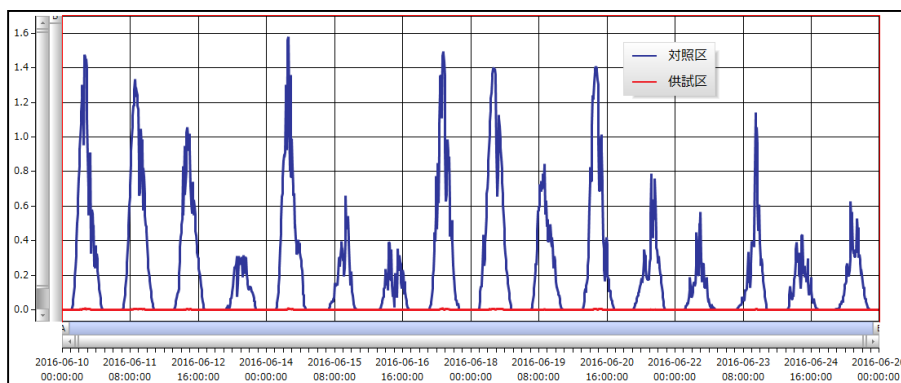


図 3 ハウス内紫外線強度の推移 (H28. 6. 10~6. 26、15分間隔)

○ 今後の方向性

アザミウマ類の抑制効果が確認できたため、UV カットフィルムの効果継続期間を調査し、新規栽培、ハウスの増設、フィルムの張り替え等を行う生産者を中心に導入を推進する。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315